

そらいろ保育園における自己評価 令和2年度

評価項目	評価内容(課題・改善策)
保育目標	子どもの発達や興味、季節にあった保育計画を、柔軟性を持って設定していくことに心がけた。活動については日々の保育の中で職員同士で連携しながら進められるよう努めた。毎月の月案、週案、日誌等の評価・反省を行い次にかいししながら、保育の質の向上に努めた。
保育について	子ども一人ひとりとスキンシップをとったり、得意なことを伸ばしたり、苦手なことに挑戦できるようにしながら信頼関係を築いていくよう努め、子どもたちの話をよく聞き、一人ひとりを理解しようと意識しながら関わることを心がけた。保育者自身も子どもたちのとりまく環境と捉え、意識して保育を行うことができた。
行事	子ども達が楽しく活動に参加できるよう、ねらいや環境構成、予想される子どもの姿など詳しく記入して当日の準備を迎えられるようにする。
研修	専門性を高めるため研修に参加し、自分の保育を見つめ直す機会とし、他の職員と共有できるようにして、日々の保育に活かすことができた。
家庭・地域との連携	家庭での様子を聞きながら、保育園での日々の様子をしっかり伝え、家庭での悩みなども連携をとり、解決できるよう努め、保護者の多様な価値観を受け止め、子どもの成長を共に喜び、寄り添える存在になれるよう努める。
安全対策	事故防止については、ヒアリハット報告書を記入し、職員間で安全対策のため、情報を共有している。事故・災害・不審者対応を計画に沿って訓練を行っているが、マニュアルの見直しを行いつつ、今後も訓練を実施していく。
情報発信	園の様子や行事の様子などをホームページ上で閲覧できるようにし、保育園の生活が保護者や園に関心のある方によく分かるように情報発信に努めた。
情報保護	各帳簿、書類ごとにファイリングを行い、個人情報については施錠できる場所に保管している。
調理内容	アレルギー除去については、職員間でアレルギー児の把握をし、栄養士・保育者が話し合い提供している。
健康管理	子どもの健康情報を共有し、子どもの既往歴(アレルギー、熱性けいれん、喘息など)について、職員に周知するとともに、その発生時の対応を行っている。
事務管理	保育部門、給食部門、管理部門などでそれぞれの書類をファイリングし、書類、データを明確に誰が見てもわかりやすい管理方法を目指した。